

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 ステップワン泉校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員に対する設置基準を十分に満たしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		利用定員に対する設置基準を満たしており、加配の職員も配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		駐車場から事業所内全フロア間に段差はありません。 (職員用給湯室を除く)	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		事業所内の常時換気や、業務終了後の消毒作業を必ず行っております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善のための会議を開催し、様々なことについて話し合い、改善努力をしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様のご意見を全職員で共有し、検討すべき項目について会議等で話し合い、迅速に対応できるようにしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当事業所ホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	当事業所では第三者評価を行っていません。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内外の研修受講の機会を確保し、全職員積極的に受講しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的なアセスメントやモニタリングを通し、ニーズや課題を踏まえて職員全体で計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		自閉症評価キット、太田ステージ、LCSA等のアセスメントツールを使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に記載し、保護者様に説明し同意を頂いています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画書に沿った支援が出来るように努めています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムディレクターを中心に活動の目的や内容等を職員全体で検討しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動が固定化されないよう、プログラム計画を作成しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングや中間評価等で本人に合った計画を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		必ず打ち合わせを行い。当日の利用者様の確認、配車確認、支援内容の分担について全職員で確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、職員全体で報告会を実施し、課題や気付いた点を共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		細目に記録をとることを徹底し、その結果を検証し改善につなげていけるよう努力しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1回以上のモニタリングを実施し、利用者様のニーズや状況、課題に応じた計画の見直し、作成をしています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者・児発管が参加することを原則としておりますが、より精通したものがいる場合にはそのものが積極的に参加できるように努めています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健福祉センター、幼稚園、保育所と情報共有や支援について連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行先や保護者様の要望に応じて情報提供を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行先や保護者様の要望に応じて情報提供を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		本年度はコロナ禍の影響もあり対面での研修の機会は少なかったですが、積極的にオンライン研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	普段と違う場所や慣れない人との交流が苦手な利用者様が多いため、安定して過ごしていただくことを優先し、現在のところ定型発達児との交流や活動は行っておりません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		連絡会等に参加しております	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳の活用や送迎時に利用者様の当日の様子や課題等を保護者様にお話させていただいております。必要に応じ電話や事業所内相談を行い、共通理解に努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	現在ペアレントトレーニングは実施できておりません。	ペアレントトレーニングではありませんが、それぞれのお子様にあった対応の仕方や支援ツールの提供、ご家庭で取り組める療育や自立課題などを一緒に考え、お伝えしております。今後外部の機関を交えペアレントトレーニングを開催する予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明し、変更等があった場合はお知らせを配布し、同意をいただいています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づき作成した児童発達支援計画書を説明し、保護者様にご確認頂き同意を頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談等にはチームで検討し、助言や支援を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		本年度は親子遠足を実施しました。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合は記録をつけ、職員会議で職員全体で話し合い、検討しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報誌やご契約者様のみ閲覧できるサイトに写真を掲載し、発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報については社内研修を行い十分に注意するよう努めています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉での意思疎通が難しい利用者様には絵カード(PECS)や筆談等を用いて情報伝達を行っています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ禍の為本年度は開催されていません。		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを策定し、契約時に保護者様に説明しております。また、発生時を想定した職員研修も実施しております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年二回実施しています。避難訓練計画書に基づき訓練を実施し、実施報告書を作成、それを検討し次回の訓練に活かしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		持病や予防接種についての情報を契約時に得ています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー情報については保護者様から情報提供をいただき、医師の指示がある場合にはそれに従った対応をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルにまとめ、職員誰もが確認できるようにしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修や権利擁護研修に参加したり、虐待防止マニュアルを活用し社内研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		必要な時には個別支援計画書に記載し、保護者様の同意を得ています。方法や時間については必要最低限となるよう委員会と職員で検討し決定しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。